

平成 26 年度協議会事業(案)について

【協議会事業計画】

1 観光二次交通サービスについて

3,500 千円

①北陸新幹線開業に向けた小木港からの二次交通調査分析

目的：北陸新幹線開業、小木直江津航路の高速カーフェリー就航を見据え、小木港を起点とした観光客の動態を分析し、周遊型観光の実現を図るための二次交通手段について検討を行う。

内容：小木港において観光客のニーズ調査を行い、実際の旅程と希望想定する旅程を把握し、北陸新幹線開業後の小木港からの二次交通網整備に活用する。

（ニーズに対しどう対応すべきか。ライナーか、定観か、路線で十分なのか）併せて、福島大学学生提案のタクシープラン等の実現可能性について必要な調査を行う。

スケジュール：調査結果を元に小木線の見直し及び、小木港発の定期観光バスの復活やタクシーの活用について事業者へ働きかける。

②世界遺産登録を見据えた金山周遊ルートへの調査分析

目的：世界遺産登録を見据えて需要が見込まれる金山周辺の周遊ルートについて調査し、次年度以降の二次交通網整備に活用する。

内容：金山周辺を循環するバスの需要予測を行い、運行手法、採算性等について検討する。また、観光振興課で実施する修学旅行生向け周遊バスの利用者に対しアンケート調査等を行い、周遊バスの有効性を確認する。

スケジュール：観光振興課を中心とする相川周遊バス運行の検討組織を立ち上げ、平成 27・28 年度実証運行、平成 29 年度本格運行を目指す。

③観光二次交通路線（南線）への調査分析

目的：トキの森公園へは 25 年度から南線を延伸したことにより利用者が急増しているが、延伸効果の他路線への波及効果を確認するため、平成 26 年度は真野新町での乗換状況を詳細に分析する。

内容：真野新町バス停において小木線佐和田行き、真野新町降車数、南線両津行きの真野新町乗車数、南線トキの森公園降車数を路線バス乗務員が確認し、乗降数データを元に分析を行う。

④観光二次交通サービスの PR

継続して実施する観光二次交通の利用促進を図るため、周知を行う。

また、福島大学学生提案の「観光客に分かりやすいバスサイン」についても取り込みながら路線バスの旅の魅力向上を図る。

(事業費)

調査・分析費 1,500 千円

① 北陸新幹線開業に向けた小木港からの二次交通調査分析

② 世界遺産登録を見据えた金山周遊ルートへの調査分析

③ 観光二次交通路線（南線）への調査分析

印刷製本費 2,000 千円

佐渡バスマップ、観光二次交通パンフレット・ポスターほか

2 支線・地区内路線の運行サービスの検証について

3,000 千円

①国仲金丸線の検証

目的：国仲線と金丸線の統合により運行の効率化を図るとともにこれまで佐渡総合病院への直行便の無かった真野新町～畑野間の通院手段を確保する。

内容：統合により国仲線・金丸線は現行7便/日⇒国仲金丸線4便/日となる。乗降調査を行い、既存利用者への影響や新たに佐渡総合病院への直行が可能となる真野新町～畑野学校前までの間の利用状況を確認し、運行の評価と次年度以降の運行改善を検討する。

②乗継利便性向上のための施策検討

目的：佐渡総合病院を中心とした利便性が高くかつ効率的な路線網を構築する。

内容：これまで行ってきた直行便・乗換便の検証を元に乗り継ぎ利便性の高い路線網構築を行うとともに、乗継時による運賃負担の軽減や乗換拠点でスムーズに分かりやすく乗り継げる手法について検討する。

(事業費)

調査・分析費 2,500 千円

① 新規路線、国仲金丸線の検証

② 直行・乗継の検証から乗継利便性向上のための施策検討

印刷製本費 500 千円（運行周知等に伴う PR 経費）

3 事務費等

3,988 千円

(事業費)

- ・修繕費 1,113 千円（市貸与マイクロバス点検・修理等）
- ・費用弁償・報酬等 765 千円（協議会3回、幹事会3回、講師打合せ2回）
※委員数25人
- ・協議会等の運営支援、報告書とりまとめ 1,500 千円（連携計画費用含む）
- ・事務費等 610 千円（消耗品、通信運搬費等）

高齢者運賃割引サービス事業

目 的

路線バスの利用促進及び高齢者の外出支援策として、地域公共交通活性化協議会事業の中で実施していた高齢者運賃割引サービスを市の事業として制度化して継続する。

内 容

取り扱いについては平成 25 年度社会実験の手法を踏襲して実施する。

対 象 者：75 歳以上

利用枚数：年間 48 枚

割引内容：1 乗車 200 円

（事業費） 13,688 千円

運行委託費 12,957 千円

印刷製本費 731 千円

《参考》

・ 利用実績

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
利用者数	2,632 人	2,808 人	2,996 人
平均利用枚数	2.7 枚/月	3.0 枚/月	3.1 枚/月
総利用枚数	44,503 枚	50,524 枚	53,237 枚

平成26年度佐渡市地域公共交通活性化協議会予算(案)

収 入

(単位：円)

区 分	平成25年度 予 算 額	平成26年度 予 算 額	比 較	付 記
1. 負 担 金	20,895,000	10,488,000	△ 10,407,000	佐渡市負担金
2. 補 助 金	0	0	0	
3. 繰 越 金	4,897,822	794,157	△ 4,103,665	前年度繰越
4. 諸 収 入	0	0	0	
収 入 合 計	25,792,822	11,282,157	△ 11,894,075	

支 出

(単位：円)

区 分	平成25年度 予 算 額	平成26年度 予 算 額	比 較	付 記	
1. 運 営 費	会議費	1,016,000	765,000	△ 251,000	報酬・報償費 費用弁償
	事務費	150,000	610,000	460,000	事務用消耗品等 通信運搬費等
2. 事 業 費	24,624,822	9,905,157	△ 14,719,665	観光二次交通事業 3,500,000 路線運行サービス検証等 3,000,000	
3. 予 備 費	2,000	2,000	0		
支 出 合 計	25,792,822	11,282,157	△ 14,510,665		